

鬼北町立広見中学校

道徳通信

NO. 11

令和7年7月10日発行

よりよく生きる

前回、日本のマナーや礼儀作法について触れました。もう少し、日本のマナーや礼儀について深掘りしていきたいと思います。

【海外の反応は？日本人は礼儀正しい？】

日本へ訪れた外国人たちは、日本人の礼儀正しさには驚くようで、SNSなどで「日本でのアメージングな体験」として拡散されることもあります。例えば、ホテルや旅館やレストランやデパート等でのおもてなし接客業においては、どんな方々に対しても大変丁寧に接していただけるので、自国にない礼儀正しさとして感じられるそうです。どんなホテル



でも、客人として扱ってくれる接客姿勢は、日本では当たり前の風景かもしれませんが、外国ではまずありえません。チェックイン時のお礼や部屋の案内時の挨拶や、ほとんどのレストランでの接客姿勢など、一挙手一投足においてお客さまを大変よくもてなしてくれていると受け止められます。しかも、それらは日本人がこれまで歴史的に培ってきた自然な行動から出る社会的風習の上にあることです。日本に滞在する日常の中で、マナーを守りながら過ごす大勢の日本人を見かける外国人には、やはり日本人は礼儀正しい、と感じるそうです。

【日本人のゴミ捨てマナーはすばらしい】

ワールドカップのゴミ拾いのように、日本人の「ゴミに対するマナー」にも驚く外国人が多いです。例えば、日本の道端にはあまりゴミ箱がありません。海外では道端にゴミ箱が設置されていることも多いので、まず外国人は日本のゴミ箱の少なさに驚きます。そして日本はゴミ箱が少ないにも関わらず、道端に放置されているゴミが少ないのです。これは、日本人にとっては普通のことかもしれませんが、しかし海外では、ゴミ箱が設置されていても路上に食べかけの食べ物や吸い殻といったゴミが放置されている光景も決して珍しくないのです。日本人は外出中にゴミが出てしまった際、お店や施設に設置されているゴミ箱を探して捨てたり、出したゴミはカバンに入れて持って帰ったりする人がほとんどです。また、ゴミの分別が細かく分けられていることも日本独特のマナーです。ペットボトルを捨てるだけでも「ラベル」「キャップ」「ボトル」それぞれを分けて捨てます。実は、世界的に見ても日本はゴミの分別が徹底されており、その分別ルールを守る人が多いのです。ワールドカップの際のゴミ拾いだけでなく、日本人のゴミに対するマナーのよさは外国人から一目置かれており、日本にしかないマナーだといえます。

「礼のところが日常に浸透し、義をもって行動する」。そんなマナー・礼義の精神が日本にはあります。古い時代から現在まで礼儀の心が続くのは、どんな時代においても相手に礼を尽くすことが大切だからでしょう。ときを越えて現代の私たちにまで受け継がれた「日本のマナー・礼儀」は、今では国境を越えて世界が注目する存在になっています。

海外からも大きな称賛を受けている日本人のマナーや礼儀作法。私たちは、日本人として生きること誇りを持ち、そして世界の中の日本人という立場から、よりよい世界をつくっていく役割を担っていく必要があるのかもしれません・・・。